第６課　神様の本性(2)18.2.11(主日)

◎ 賛美(一同) : 韓日28番、韓日102番

◎ 信仰告白(一同) : 使徒信条

◎ 御言葉朗読(一同) : 詩編 97篇 9節

◎ 本文朗読

◎ 主の祈り(一同) : 最後に

◎ 今日のマナ

神様の属性は大きく二つ、神様だけが持っておられる固有の属性と、神様が人間と共有しておられる属性とに区分されます。今回の課では、この二つの神様の属性を学びながら、神様がどのような方であられ、私たちはその神様をどのように似ていくことが出来るのかを考えてみたいと思います。

1. **神様だけの属性**

神様だけが固有で持っておられる特性は全知、全能、無所不在があります。

一番目に、神様は全知なるお方です。神様はこの世の創造主であられ絶対者であられます。したがって、この世の全てについての知識を持っておられます。この世のどのような存在も自分自身を明確に知ることが出来ませんが、ただ神様だけが明確にご自身を知っておられます。

また神様は、全宇宙の過去、現在、未来にわたる全ての出来事を知っておられます。人類に起きる全ての出来事を知っておられるのみならず、人間の心と考え、人間の望む全ての願いを知っておられます(詩編139：1～4)。

二番目に、神様は全能なるお方です。したがって、神様はなさろうとされる全ての事をなさることができます(ルカ1：37)。人間が解決することのできない問題であろうとも、神様は解決なさることができます。神様が願われれば、病人を癒され、自然の法則を超越した様々な奇跡を行い、死人さえも生き返らされます。このような奇跡を経験するとき、被造物は神様の全能さを認めるようになります。しかし、神様は全能であられるからといって、なんでも全てを行われるのではありません。特に、神様は神様のご性質に矛盾することを行われません（へブル6：18）。

三番目に神様は無所不在なるお方です。無所不在なる神様は、どのような空間にも制限されることなく自由に働かれます。神様はどこにでもおられ、活動され、人間の世界の主観者となられます。神様は、私たちと遠く離れておられるのではなく、私たちの人生に驚くべき能力を行われます。私達全ては、このようにいつでも私たちと共におられる神様の力を受けて生きていかなくてはいけません(使徒17：24～28)。

最後に私達人間の知恵によっては、神様の偉大さと無所不在さを完全に理解することはできないという事実を覚えなくてはいけません(Ⅱ歴代誌6：18)。神様が全知全能であられ、無所不在であられるということを、私たちが知ったとして、それは神様の全てを知ったことではありません。神様は私達が推し量ることの出来ない偉大なるお方なのです。

**2. 人間と共有している属性**

神様のご性質の中には、人間と共有している属性があります。代表的に愛、聖さ、義、良さ、真実さなどがあります。

一番目に神様は愛であられます。神様の愛は‘ご自身のかたちと意思にしたがって造られた被造物を見て喜ばれること’です。このような神様の愛は恵み、慈悲、忍耐等で現れます。また、神様の愛は無条件的な愛です。神様は無条件的な愛によってこの世を創造され、その愛によって人を守られ、導かれます。私達はこのような神様の愛のご性質を持っているゆえに、愛の人生を生きることができます。神様は私達に、隣人を愛しなさいと語られ(マタイ22：39)、私たちがその御言葉に従って互いに愛することを願われます(Ⅰヨハネ4：7～9)。

二番目に、神様は聖なるお方です。聖さは区別されていることを意味します。聖なる神様は罪と分離されているお方であるゆえに、罪を受け入れられず、偽りなくいつも真実であられます。また神様の聖さは、ご自身の民を聖なるものとされます。私達はイエス様の血潮に頼り神様の聖さへと進み行くことができ、聖霊様を認め歓迎し受け入れる時、聖霊様の働きによって聖なる人生を生きることが出来ます。

三番目に、神様は義なるお方です。神様は義なるお方であるゆえ、いつでも公平に働かれ、不義を決して受け入れられません。アダムとエバが罪を犯して後、全ての人類、万物は神様の義にふさわしくないものとなりました。しかし私たちは、イエス様の十字架の救いの出来事を信じることによって、神様の前に義なる存在として立つことが出来るのです。このように、イエスキリストの血潮によって、神様の義が人間に臨むとき、三つの結果を伴います。人間は自分の全ての罪が赦され、罪のない状態となり、罪がないゆえに神様の前に堂々と立つことができ、サタンの策略、試みがあるにも関わらず勝利の人生を生きるようになるのです。

四番目に、神様は良きお方です。良き神様は、全ての被造物を大きく慈しみ深い心で扱われるご性質を意味します。この世で完全に善であられるお方は神様おひとりだけであり、神様は被造物の良さの基となられます。神様はご自身の良き御心に従って、全ての人間がイエスキリストを通して救いの恵みを享受することを願われます。また、良き神様は全ての人間が罪と病、呪い、死から解放され自由といのちの人生を生きることを願われ、全ての人間がキリストによって環境の呪いから抜け出し、祝福の人生を生きることを願われます。

最後に、神様は真実なるお方です。神様の真実は神様の御心や神様の民との関係において、いつもまことであられ、偽りのないことを意味します。神様は人でないゆえに、嘘をなさらず、後悔もなされません(民数記23：19)。使徒パウロは神様が偽りの偶像とは存在自体が違い、神様だけが真実なるお方であると告白しています(Ⅰコリント8：4～6)。このように、真実なる神様を信じる私達は、他人を騙したり、嘘を語ってはならず、全てに真実に行わなくてはいけません。

◎ マナの要約

<神様だけの属性>

1. 神様は全知なるお方でこの世の全ての事を知っておられます。

2. 神様は全能なるお方で、なさろうとされる全てをなされることが出来ます。

3. 神様は無所不在なるお方で、どこにでもおられ活動され、全ての世界の主観者となられます。

<人間と共有される属性>

1. 神様は愛であられ、私たちが神様の愛に従って互いに愛することを願われます。

2. 神様は聖であられ、イエスキリストの血潮と聖霊の働きを通してご自身の民を聖なる者とされます。

3. 神様は義であられ、私たちはイエスキリストの十字架の救いの出来事を信じることによって神様の前で義なる存在として立つことが出来ます。

4. 神様は良き神様で、全ての被造物の良さの基となられます。

5. 神様は真実であられ、真実なる神様を信じる私たちは全ての言動において真実でなければなりません。

◎ 生活の中のマナ

<隣の人と挨拶>

1. 神様の性質に似ていきましょう。

2. 互いに愛し合いましょう。

3. 真実さをもって行動しましょう。

<祈り>

1. 神様の固有のご性質を悟り、神様だけをあがめるようにして下さいと祈りましょう。

2. 罪人である私たちが神様の前で義なる者として立つことが出来るようにして下さったことを感謝する祈りを捧げましょう。

3. 良き神様を体験し、祝福の日々を生きるようにしてくださいと祈りましょう。

<とりなしの祈り>

隣の人と祈りの課題を分かち合い、共に祈りましょう。